穂　学

令和３年度
広州日本人学校　学校便り
［N o 20］
令和４年３月４日（金）
発行責任者 校長　加藤康徳

「卒業式の準備が進んでいます。」

３月９日の卒業式に向けての準備が進んでいます。今年度の本校の卒業生は、小学部６年生が２７名、中学部３年生が１２名となっております。現在は式の中の礼法はもちろんのこと、証書授与や歌などの練習を主に体育館で行っております。今年も昨年に引き続き、通常の卒業式を想定しております。

ただ、広東省内の新型コロナウイルス感染の拡大が心配されます。先日の臨時休校のように突然学校を閉鎖しなくてはならなくなる事態も想定されます。今は広東省内をはじめとする新型コロナウイルス感染の情報収集に努めておりますが、卒業式の内容が急に変更になる可能性もあります。保護者の皆様のご理解を宜しくお願いします。

＜卒業式練習＞

「オンライン交流による授業の紹介」

中学部３年 英語の授業

（3月2日　4校時）

インドネシアにあるチカラン日本人学校の 3 年生とオンライン交流を行いました。1 回目は自己紹介等　2 回目は教科書でも学習したディベートを行いました。ディベートのテーマは「宿題は廃止されるかべきかどうか」でした。宿題についていろいろな角度からの考えを交流し合いました。学習した内容を使ったり、即興で英語を話したりする絶好の機会となりまし

小学部３年 社会科の授業

（2月21日　1校時）

小学部 3 年生が社会科の学習で日本（川崎市）の消防署職員の方から消防署の仕事について教えて頂きました。消防署の中や消防士の仕事の動画を見せてもらったり、子ども達からの質問に答えてもらったりしました。将来消防士になって人を助けたいという思いを持つ子もいました。

「帰国児童生徒へのアンケートのお願い」

学校経営スローガン「つながりを未来に実感させる広州日本人学校の創造」と設定し、今年度は学校運営に取り組んでまいりました。そこで、帰国した子どもたちが日本に戻ったときにどのように広州日本人学校を実感してくれているのかを知るために、およそ上記のスローガンの取り組みが定着してきた昨年の 9 月以降に日本に帰国した子どもたちに向けてのアンケートを実施いたします。帰国後、令和 4 年 8 月までを目途に本校で登録されている保護者のメールアドレスにアンケートを送信させて頂きますので、ご協力をお願いいたします。今後の学校経営の参考にいたします。なお、何らかの事情でメールが届かないことも想定されます。その場合は下記の項目の回答をメールでお送りください。（例）１－Ｂ・・・

アンケート項目

A.とてもそう思う。　B.そう思う。　C.あまり思わない。　D.まったく思わない。

1．広州日本人学校の先生から学んで良かったと思うか。

2．広州の地域で学んで良かったと思うか。

3．広州日本人学校から次の学校に編入学・進学できて良かったと思うか。

4．広州日本人学校の友だちと学べて良かったと思うか。

5．広州日本人学校で学んで良かったと思うか。

「児童生徒の自己評価が低かった項目の改善に取り組みました。」

※前期に比べ後期に 5%以上低下した項目と改善に取り組み 3 学期末に再度アンケートを取った結果を表示

NO	項目内容	前期	後期	３月
1	＜小１・小２＞ ●「授業中は自分の考えをノートに書き、発表しています。」	98.5%	92.6%	97.1%
2	＜小１・小２＞ ●「忘れ物をしません。」	87.7%	77.9%	85.2%
3	＜小１・小２＞ ●「ろうかを走らずに歩いて移動できています。」	90.8%	83.8%	90.1%
4	＜小３～中３＞ ●「あなたは人の役にたった、人に喜んでもらえたという経験がある。」	97.0%	91.5%	95.5%
5	＜小３～中３＞ ●「学校は教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。」	97.0%	85.3%	85.1

本校は「整理整頓」に課題を残す結果となりました。来年度も改善のための取り組みを行っていきます。